

内野〔西京のひがしをいふ、一番町より七番町まであり。上古大内裏の御時、皇城の内なるゆへ委きは内野といふ。〕

ふ。明徳の頃、山名氏清謀叛して足利義満公とこゝにて戦ふ、これを内野合戦といふ。今は民家建つゝきて飛絮飄花の家所々に見へて提琴三弦の音常に聞ゆ〕

新六帖 いかにせん内野の芝生年をへてあらぬつくり_にせばくなるよを 為 家

新後拾 九重の内野の雪に跡つけて遙に千代の道を見るかな 少将 内侍

国生寺〔内野五番町にあり、浄土宗黒谷に属す、本尊阿弥陀仏は慈覚大師の作、立像四尺許なり。真如堂同木の尊影なりとぞ〕

太子堂〔門前にあり、聖徳太子御自作の影を安置す。御父用明帝御惱平癒のため三宝を御祈の相好なり、故に孝養の尊像と称す〕

烏樞沙摩明王〔太子堂脇壇に安置す、化人の像〕

祥光寺〔内野六番町にあり、浄土宗西山派。本尊阿弥陀仏、立像五尺許。開基は俊鳳和尚なり。此人専修専念の法味を都鄙に勧めれば、四方の道俗歩を運び、脱法の聴衆群集して稲麻のごとし、遂に宝暦年中此寺を草創して常行念仏の道場とはなしぬ〕

竹林山福勝寺

〔出水通千本の西にあり、真言宗小野随心院に属す〕本尊〔薬師仏、不動尊〇二軀を本尊とす、共に弘法大師の作なり。開基は覚濟僧正〕

福聚山慈眼寺

〔同街七本松の東にあり、禅宗曹洞尾州名護屋万松院に属す〕

本尊聖観音〔延鎮の作、坐像五寸許、洛東清水寺の本尊と同木同時の作なり〕開山は大雲永瑞和尚、本願は陸奥守成

正なり。〔此人は織田信長公の伯父なり。当寺肇は西陣石屋の辻子にあり、其跡を今慈眼寺の辻子といふ。中頃京極丸太町の北にうつし、寛永年中又今の地にうつす。抑曹洞宗祖越前永平寺道元和尚、常に謂京師は繁華の地にして沙門の居るべき所にあらずとなり、故に洞家の寺院稀なり、今京師に在る所は宗仙寺、天寧寺、当寺共に三ヶ所而已なり〕

観音寺

〔七本松通出水にあり、浄土宗百万遍に属す〕本尊阿弥陀仏〔慈覚大師の作、立像三尺一寸。開基は方誉梅

林上人、慶長十二年の創建なり〕

観音堂〔門内にあり。本尊は安阿弥の作、立像一尺七寸一步。応永年中疫時行し頃、山名重氏此観音に祈願し諸人を助

く、其時此堂を再興す、報恩の為多くの人聚るゆへ千人堂と呼ぶ。洛陽めぐりの第廿七番なり〕